

# しょくいく たのしい食育

※このおたよりは、食に関する情報を載せていますので、お子さんと一緒にご覧ください。

1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の市立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まつていきましたが、戦争による食料不足で一時中断されました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は、給食用物資の贈呈式が行われた1月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」とすることが定めされました。

令和8年1月  
編集・発行  
福知山市学校給食会  
学校給食センター  
(小学校)

がっこうきゅうしょく うつ か  
学校給食の移り変わり  
きゅうしょく はじ めいじ ねん げんざい がっこうきゅうしょく  
給食が始まった明治22年から現在にかけて、学校給食がどのように変化してきたのかを見てみましょう！



「全国学校給食週間 特別献立 ～給食で学ぼう！日本の万博～」

今年度は、4月～10月まで、大阪・関西万博が開催されていました。そこで、今年度の給食週間では、今まで日本で開催された万博について知ると共に、その開催地の食文化について学ぶことができるよう、郷土料理や特産品を活かした献立を取り入れています。また、最終日は、大阪・関西万博に関わる特別献立です。

